

## 2025年度 事業計画書

(2025年4月1日～2026年3月31日)

当財団の2024年度(第8期)におきましては、助成3事業がバランスよく拡大し、前年比136%(金額ベース)を超える応募となり、選考委員会による厳正な審査の結果、前年比132%の167百万円の助成事業へと発展いたしました。一方、スポーツの学び体験事業として「I' m POSSIBLE」教材を活用した授業を富山県滑川市で2度実施いただいたものの費用発生はありませんでした。このような実績を踏まえて2025年度の事業計画については、以下の6点を重点に、公益事業の更なる発展と地域社会への貢献を具体化してまいります。

1. 【公益1事業費】柱となる3つの助成事業の拡大のため以下の予算を計上いたします。

障がい者スポーツに関する支援事業	60,000千円(前年実績56,422千円)
次世代を担う人材の育成に関する支援事業	60,000千円(前年実績56,854千円)
富山県のスポーツ振興に関する支援事業	60,000千円(前年実績54,220千円)

総額180,000千円(前年実績167,497千円 前年比107.4%)を計上いたします。
2. 【公益2事業費】すべての人がスポーツを等しく楽しめる共生社会の実現に寄与するための講演・セミナー事業に加えて、今年度から体験活動を実践するにあたり、5,000千円を計上いたします。なお、直近では2025年4月27日に石川県加賀市において車いすラグビー連盟と共催で、「車いすラグビー体験会」を予定しております。
3. 【公益1委託費】当財団の公益事業が社会に与えるインパクトを可視化し、今後の広報活動のためのエビデンスづくりを、みずほ信託銀行とみずほR&Tに委託して、当財団事業の社会的インパクト分析を実施し、現状把握と今後のマネジメント改善について検討するため、5,000千円を計上いたします。
4. 【管理費】JPCが推進する「I' m POSSIBLE」事業の富山県における更なる普及促進と拡大に向けて、今年度もJPCへの寄付金として、5,000千円を計上いたします。
5. 【管理費】昨年度より開始した「令和6年能登半島地震の被災地におけるスポーツ機会維持の支援」事業として、2024年度は10,121千円をご支援いただきましたが2025年度も継続して被災地支援事業(寄付金)として10,000千円を計上いたします。  
なお、今年度は最も被害が大きかった石川県に比重を置いて支援する予定です。
6. 【管理費】2023年度より2年間継続してきた「富山県共生スポーツ協議会」をあと1年延長し、令和9年以降の富山県スポーツ支援の事業内容の再構築を図るため、富山県共生スポーツ協議会の運営費並びに調査委託費として7,000千円を計上いたします。

以上